

軟らかい素材を使ったルーブリシロン義歯

## 自分に合った入れ歯治療

軟らかい素材を使った  
痛くない入れ歯

昨今では、インプラント治療の普及などにより、入れ歯治療そのものが敬遠される風潮が強くなってきています。しかし、実際のところ、顎の骨が著しく吸収されて無くなってしまった患者さんなどに對しては、インプラント治療よりも入れ歯治療の方が功を奏する場合があります。当院には、そうした患者さんが入れ歯の不具合を訴えて、遠方からわざわざ来院されませんが、そのすべての患者さんに満足いただいている入れ歯治療として「ルーブリシロン義歯」による治療が挙げられます。

このルーブリシロン義歯は、どのような入れ歯で、今までの入れ歯とは何が違うのでしょうか？ まず、通常の入れ歯の場合、レジンという

合成樹脂を主に使用しているのですが、この素材は、樹脂とはいえっても、薄くなって弾力が無くなった歯ぐきや顎の骨にとつては、まだまだ硬い材質なのです。その点、ルーブリシロン義歯は歯ぐきに接触する部分に、軟らかい素材であるバイオシリコーンを使用していますので、それがクッションの役割を果たし、強くかんでも歯ぐきや顎の骨が痛くなりにくいのです。また、今までの素材では入らなかった歯ぐきの凹凸の深い所まで覆うことが可能ですので、患者さんのお口にピッタリ合った入れ歯を作ることできます。

口腔内の調和を保ち  
メンテナンスも容易

ルーブリシロン義歯を作製する際には、咬合圧印象といわれる、入れ歯で食べ物をかんでいる状態の型採りを行

います。このことにより、口腔粘膜や筋肉、舌との調和が保たれた入れ歯を作ることが可能になります。使用されているバイオシリコーンは、整形外科など幅広く医療界で使われ、国の医療器具としての認可を受けた材質ですので、安全性も心配ありません。さらにルーブリシロン義歯は、正しい使い方とお手入れを行うことにより、平均でも3年以上の使用が可能です。その上、入れ歯が合わなくなったとしても、バイオシリコーン部分だけの張り替えができるため、コストの面でも非常に良心的です。

このようにルーブリシロン義歯は、さまざまな利点を持った入れ歯です。以前から入れ歯で深刻な悩みを抱えている方も、どうか諦めないでください。ルーブリシロン義歯が、あなたの助けになってくれることでしょう。

特別寄稿



内田歯科医院 院長  
うちだ まさし  
内田 将士